

令和4 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日		令和4年12月20日
法人名	園名	
社会福祉法人照治福祉会	浦堂認定こども園	
まとめ	全体平均	4.30
第2章第2節 乳児期の園児の保育	<p>乳児期にとって必要な身近な人に対して愛着を持つことは、今後の人格の形成や人間関係の形成にとって重要である。それをふまえ、職員は皆愛情を持ってその子の気持ちに寄り添いながら、乳児期のそれぞれの発達を見守っている。玩具や絵本、触れ合い遊びなど、個人の発達に沿ったものを提供し、楽しさや満足感を感じてさらなる意欲につながるよう環境を構成し、子どもの気付きに共感し、感性がさらに育つように関わっている。</p>	
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	<p>3歳児未満児が過ごす環境、玩具、安全面など様々なことを考え、配慮して保育している。園児の表現を温かく受け止め、その世界を楽しむ事でさらに遊びやイメージが広がっていくように見守り、援助している。言葉だけではなく、表現の仕方が様々であること、その子によって違うことを理解しながら関わっている。</p>	
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	<p>3歳児以上の子が、自分で好きなことを見つけ、十分にそれを楽しめる、自分と向き合えるような環境、保育者の働きかけを意識している。自分とじっくりと向き合えることで、他人とも向き合うことができ、周りの人への興味、関心、思いやりを育てる心などを培うことができるようになっている。自分が感じたことを自由に表現して楽しめるよう、1人ひとりの気持ちに寄り添う、また様々な素材に出会い、自分を表現する喜びを味わえるようにしている。</p>	
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	<p>どんな子どもに対しても、一人一人の把握を職員が連携しながら行い、子どもの気持ちを受け止めながら丁寧な保育を心がけている。一人ひとりの思いを大切にすること、すべて周りの大人がしてしまうのではなく、自分で考えてやり遂げる経験ができるようにし、また、子ども自身が認められていると感じたり、尊重し合える関係、環境、温かい場作りに繋げていけるよう、保育者自身が多様性を受け入れ、自己の価値観を見直しながら過ごしている。</p>	
第3章 健康及び安全	<p>畑を借りる事ができ、給食で使う野菜の栽培ができるようになった。旬のものを自分たちで種を撒き収穫し、食べる経験ができることが楽しみである。食事に関しては、完食することをめざし、食べることは楽しい、幸せであることを第一に思えるようにしている。災害に対する対策が強化され、訓練では災害が起きた時を見越しての動きができるようになった。安全管理の強化が必要な事案があり、環境の見直し、対策ができた。持続する事に意味がある。</p>	
第4章 子育ての支援	<p>地域の中のこども園として、地域とのつながり、交流、支援など重視し行っている。毎日園庭、赤ちゃん広場、一時保育などで、育児不安や悩みに寄り添い、子育て支援に取り組んでいる。本当に困っている、困っていてもどうしたらいいのかわからずいる地域に埋もれているそのような家庭への支援を忘れずに、様々な取り組みをしている。</p>	
第5章 職員の資質向上	<p>自分の立場、役職、職務に合った研修を受けられるようになっている。年間の研修計画を作成し、保育の質の向上していくように配慮している。また、職位や職務の内容に合った研修を受けられるようになっている。全職員に対し、研修などで専門性を高める機会が提供されている。また、外部研修を受けた際は、その内容を全職員に周知できるように取り組まれている。研修もいいが、対話することも行い、大切にされている。</p>	
総合	<p>認定こども園としての役割を全うし、これからを担う子どもたちに対して、生きる力の基礎を培えるよう工夫している。園児が自分のしたいことを十分にできる環境、自分のことを伝える、それを受け止めてくれる愛情ある保育者、保育者の育成なども丁寧にされていると思う。一人の人として見ることなど、子どもを尊重し、ありのままを受け止めることで、自己肯定感、他者を信頼することなど、人生を送る上で大切なものを育てている。園児だけでなく、子育て中のすべての親子に対しての働きかけも法人として取り組んでおり、誰も孤立させることなく、みんなで子育てしていくという意識が高い。看護師、心理士、栄養士など専門的な分野においても常に園とつながりを持って関わり、様々な方面の事柄に対しても心強く、安心できる園である。</p>	

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.80
「3歳未満児保育」	32	4.44
「3歳以上児保育」	53	4.06
「教育保育の配慮事項」	16	4.38
「健康・安全」	29	4.24
「子育ての支援」	18	4.67
「職員の資質向上」	9	3.67
計	172	4.30

データグラフ

